

東海地区医学図書館協議会主催 医療を学ぶ人のための EBM ワークショップ in 愛知

日本医学図書館協会東海地区会共催、日本薬学図書館協議会東海地区協議会協賛、CASP Japan 後援

日時 : 2019年10月19日(土) 10:30~17:30
会場 : 国立病院機構 名古屋医療センター
(名古屋市中区三の丸四丁目1番1号)

プログラム

10:00~10:30	受付
10:30~12:00	第1部「EBM」概論 福岡 敏雄先生(倉敷中央病院)
12:00~13:30	新PubMed「PubMed Labs」について 昼休憩 ※
13:30~17:00	第2部 ワークショップ
17:00~17:30	解説・閉会
18:00~	情報交換会(希望者)

※ 昼食は各自ご用意ください。
昼休憩の時間に会場で新しいPubMedについてご案内します。
Wifiを会場に用意しますので、ご自身のタブレット、パソコン等で
新しいPubMedをお試しいただけます。(12時30分~13時の予定です)

【ワークショップの内容】

課題論文(診断 英文)を、CASPチェックシートを用いグループメンバーで読む →
各グループの発表 → フィードバックという流れで学習します。

- ・ 1グループは、他職種を交えたメンバー6名程度で構成。
各グループにチューター(医療従事者)1名を配置予定です。
- ・ シナリオテーマ
急性頭痛患者におけるくも膜下出血の除外について
- ・ 課題論文 (free アクセス)
Perry JJ, Sivilotti MLA, Sutherland J, Hohl CM, Émond M, Calder LA, Vaillancourt C,
Thiriganasambandamoorthy V, Lesiuk H, Wells GA, Stiell IG.
Validation of the Ottawa Subarachnoid Hemorrhage Rule in patients with acute headache.
CMAJ. 2017 Nov 13;189(45):E1379-E1385. doi: 10.1503/cmaj.170072. PMID: 29133539

【目的】

- ・ EBMの概念、医療情報の質を見極めるための知識を身に付ける。
- ・ 様々な立場の参加者が集うことで、それぞれの専門知識を教え合い学ぶ機会となるだけでなく、職種を超えた人的ネットワークを広げる。
- ・ グループワークを通して論文の批判的吟味を学ぶ、職種を超えた人的ネットワークを広げる。